

KTK ひゅうまん 京都

No 547 2022年6月号

編集/京都障害児者の生活と権利を守る連絡会 〒603-8324 京都市北区北野紅梅町85 弥生マンション内
編集発行責任者/池添 素 電話&FAX(075)465-4310 購読料 1部80円 年間購読料1,000円(送料実費)

- P 1 左大文字 つどめ
- P 2 常任委員会から 池添 素
- P 3 相模原事件と優生思想 井上吉郎
- P 4 血の染みついたパトシ 中村 暁
- P 5 電動車いす「まんまる号」ドライバー日記 山本耕平
- P 6 ジョニーの炸裂日記 ライスチョウジョナ
- P 7 つれづれあらぐさ 中山 恵美子
- P 8 2+2=詩 富士一文
- P 9 障害のある人の権利を守る北障連から 濱中 博
- P 10 365歩のマーチ 安藤 史郎
- P 11 知っ得情報 松本 美津男
- P 12 人生の伴走者 井上吉郎

左大文字

「ケアラーの4モデル」

「ケアラー」って誰のことだろう。どのようになられているのだろうか▲
 「ケアラー支援条例」をつくらうという運動に関わって識者やメディアとの意見交換の機会にも恵まれたが、改めて気付かされたことが冒頭の問いだ▲質的研究で著名な木下康仁が以前から「Wigg教授(英国)らの研究として紹介している「ケアラーの4モデル」は文字通りこのケアラーを問う視点である。それは、①介護資源として、②専門職の協働者として(障害児家族に多い)、③クライアントとして、④ケアラーの規定を越えた個人として、のケアラーである。第4のモデルを理想とした▲私は以前にケアラーの支援には、ケアを続けるためになされる支援だけでなく、ケアから解放されるための支援枠組みも不可欠だ、と言ってきた。支援策の方向を指したものはあったが、モデル①～③は前者に、④は後者に相当するのかもしれない▲日本の実情は、まだ①②の段階。③の支援すらまだその法的根拠は整っていない。ましてや、介護関係を超えた一人の市民としてのケアラー自身の人生のための支援については、まだ問いにすらなっていない▲「ケアラー支援条例」をつくる運動は、この問いを問いとして構築し社会化していく社会運動に違いない。

つどめ



「かえる」
渡辺あふる

常任委員会から

〈想定外〉

京障連の総会は6月12日(日)の13時30分から始まりました。また、2021年度の決算と2022年度の予算を承認し、無事総会を終えることができました。

2020年7月の活動の中心は、京都市立北総合支援学校高等部2年生だったR君が母親の手により命を奪われた事件を、重く受け止めた取り組みです。障害者と家族のSOSをキャッチする仕組みを作る実行委員会を作り、今年度は2回のシンポジウムを開催しました。さらに、佛教大学の田中智子さんを中心に、子どもと親の自立を考える暮らしの場についてのアンケート調査の取り組みです。2022年度も、引き続き障害児を育てる家族のSOSをキャッチし、二度と同じような事件が起こらないよう

に取り組みを進めることを確認

しました。また、2021年度の決算と2022年度の予算を承認し、無事総会を終えることができました。

想定外はそこからです。総会後の記念講演は「ケアラー支援条例を京都でつくる意義について」と題して、京障連の機関紙『ひゅうまん京都』の表紙エッセイ「左大文字」筆者の津止正敏さんでした。これまで男性介護者の会などにとりくみ、今回のケアラー条例策定の呼びかけ人でもありました。前日にレジュメや資料が届き、あとはご本人が話すだけとなっていたのですが、当日朝に連絡があり、体調不良で欠席とのこと。いたし方ありません。またの機会に講演は楽しみにするとして、早い快復を願うばかりです。楽し

みに来てくださった方ごめんなさい。今年度もよろしくお願ひします。

〈7月10日は投票へ〉

もう後がないぐらい、日本の政治は、憲法9条を改悪し、戦争の道をまっしぐらに走ろうとしています。わずか75年前にこの国は戦争に負け、多くの国民を犠牲にし、中国や朝鮮半島の人たちの命を奪う暴挙を深く反省して作った憲法です。日本人は忘れっぽい国民性だと知っています

はいましたが、記憶が100年も持たないとは情けない限りです。しかし、嘆いてばかりでは何も変わりません。今憲法を変えるたくらみをストップさせるための行動を起こさずにはいられません。和を守る行動をするのでしようか。「今でしょ!」というセリフが頭に浮かびました。それは7月10日です。参議院議員選挙の投票日です。自分が投票するの

はもちろん、周りの人に「今しかない」「手遅れにならないように」「選挙で意思表示を」と呼びかけよう。京都選挙区は定員2名の議席です。山ほど立候補している候補者の中から、戦争しない平和と国民の命を守る立場の候補者を見つけ出す必要があります。有権者全員に与えられたチャンスを絶対に逃さず、私たちの想いを国会に届けてくれる候補者を見つけ出し、国会に送り出しましょう。

〈タクシーチケット〉

向日市で、これまで支給されていたタクシーチケットが突然支給されなくなったという、大変なことが起こりました。向日市役所は、「これまで間違って送っていたので取りやめた」と。公開質問状を出して、実態を明らかにする取り組みが始まります。向日市役所の誠意ある対応を願います。

池添素(京障連事務局長)

相模原事件と優生思想

に驚きました。

そこでは、「医療」や「いのち」

も「商品」としてとらえる考え

が底に流れていて、「美しい死」

(例えば特攻死)を賛美する「思

想」があるような気がしました。

「いのちの絶対的価値」をゆが

める考えと言わざるを得ませ

ん。

「障害は迷惑じゃない」と声

を大にして叫びたいと思い、書

名(『障害は迷惑じゃない』)に

も使いました。僕は、「美しい

死」のためではなく、「納得でき

る生」を求めてきましたし、そ

のために、社会保障充実の道を

選びました。「役に立つ」「役立

たない」で選んではならないの

ではないでしょうか。僕は「生

と死の線引き」に反対です。

ところで、嚙下障害もある僕

は、胃ろうから栄養の過半を摂

取、口からは副次的にとつてい

ます。おいしいものが味わえな

からといって、「人間失格」と
考えてはいけません。しかしなが
ら、「胃ろうたたき」の背景に、
医療経費高騰論があるのを見る
とき、「障害迷惑論」を感じます。
そうした中で、「障害があつて
もない人と同じように活躍して
いる」と感じる一つが「白梅町
無言宣伝」です。僕の身体条件
を考えた時、遠く離れた繁華街
での「宣伝行動」には難点があ
り、言語障害者の僕は、マイク
を使つての街頭宣伝は不可能で
した。しかしながら、「特定秘密
保護法」に不同意であることは
人一倍強い。マイクが使えない、
チラシも撒けない。しかしなが
ら秘密保護法に反対という意思
は示したい。そんなことから「無
言宣伝」は13年11月に始まりま
した。以来、毎週月曜日アサ9
時までの「無言宣伝」は続いて
います。「戦争できる国」づくり
を許さないという課題の前で
は、「障害の有無」は無関係でし

た。

1948年に制定された優生

保護法は、「優生上の見地から不

良な子孫の出生を防止するとと

もに、母性の生命健康を保護す

ることを目的とする」と第一條

で述べています。「不良な子孫の

出生を防止する」ための優生手

術などを規定していたこの法律

は、20年前の1996年に廃止

されましたが(母体保護法にな

った)、僅か25年前まで、〈優生

思想〉に凝り固まった法律がこ

の国には存在していたのです。

〈優生思想〉は過去のことです。

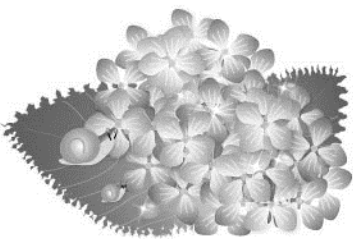
はなく、「いま、ここ」にある「思

想」です。

③「石原エイリアン発言」 井上 吉郎 (本誌編集長)

「障害者は不幸を引き起こす」「生きる値打ちがない障害者」などと言ひ犯行に及んだ人物のことを聞いた時、「石原エイリアン発言」を思い起こしました(野党自民党の石原伸晃幹事長は、2012年2月6日のテレビ番組で、胃ろう造設患者について「意識がない人に管を入れて生かしている。(病院で)何十人も寝ている部屋を見せてもらった時に何を思ったかというエイリアンだ。人間に寄生しているエイリアンが人間を食べて生きているみたいだ」と発言した)。「石原エイリアン発言」を聞いた時、「障害があるから迷惑かけているな」とは考えませんでした。必死で生き続けようとしている人々を、「地球外生物」と同列視する人間理解の底の浅さ

は、胃ろうから栄養の過半を摂取、口からは副次的にとつています。おいしいものが味わえないなどの制約はありますが、だ



血の染みついたバトン

中村 暁（医療ジャーナリスト）

⑱ 全世代型社会保障改革の

本質

引き下げと高齢者はふんだけ
つたりなのに。

もともと「2割負担」は、安

10月1日から後期高齢者医療制度の窓口一部負担金に「2割負担」が導入される。今年（2022年）1月1日施行の健康保険法改正によるものだ。これまでは原則1割、「現役並み所得者」は3割負担だったが、1割負担だったののうち単身世帯で年収200万円以上、夫婦ともに75歳以上の世帯で年収320万円以上の人は「一定以上所得がある」として2割負担に

なってしまう。2割負担というのは1割負担の倍である。2000円の自己負担が4000円である。凄まじい負担増だ。それでなくともコロナ、戦争、物価高騰、年金

も働け、働いて経済成長に貢献

スローガン（為政者は歴史的に改革は「一億総活躍社会」なる



年齢を待ち受けるのは悲惨な現実である。病気になっても高い窓口一部負担金で医療が遠ざけられる。「ACP」とか何とか言われて「人生の早じまい」を迫られる。コロナに感染しようのものなら、施設に留め置かれ、入院もさせてもらえない。これが日本である。スゴイ。

一体為政者は高齢者をどう考えているのか。

久しぶりに「老人福祉法」を読んでみたらこんなことが書いてある、「(基本的理念) 第二条 老人は、多年にわたり社会の進展に寄与してきた者として、かつ、豊かな知識と経験を有する者として敬愛されるとともに、生きがいを持てる健全で安らかな生活を保障されるものとする」。

現実との乖離があまりに激しいからこそ、私はこの条文を手放しで絶賛したいと思う。どうせ為政者はこの条文を読んだことも

したがって働けなくなった高

ないだろうが。

電動車いす「まんまるのり」 ドライバードライバー日記 ②

山本耕平

ており、主治医が困惑する表情をいまだに忘れることができません。主治医は、「再発ですね。パルス療法を行いますよ」と告げ、1回500ミリの副腎皮質ホルモンを3日続けて入れる治療を行うことになりました。

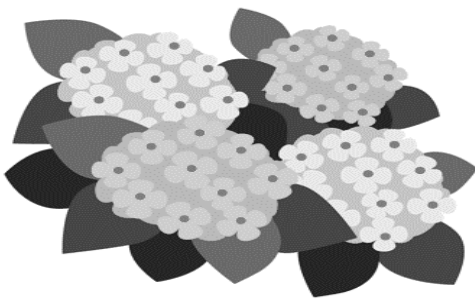
私の病気は、再発を繰り返して、多発性硬化症との診断を受け、大学2年生の時に、その病気が初発だと思っていた私ですが、後に私を診察した医師は、私のそれまでの病歴を聞き取り、「あなたの多発性硬化症は、小学校5年生の時からかもしれないですね」と、教えてくれました。

私の病気は、再発を繰り返して、多発性硬化症との診断を受け、大学2年生の時に、その病気が初発だと思っていた私ですが、後に私を診察した医師は、私のそれまでの病歴を聞き取り、「あなたの多発性硬化症は、小学校5年生の時からかもしれないですね」と、教えてくれました。

その後、昨年の晩秋から私は、どうも自分の身体をコントロールすることが下手になりました。目をつむって立つと倒れてしまうことは以前からあったのですが、目を開いて直立で立つてもなかなか直立にならずにふらふらするのです。また、椅子に座る時に、ゆっくり座れずにボタンと座ってしまふ状況が生まれました。両杖歩行は、5メートル毎に立ち止まらないと前に進めません。そこで、車いす利用を考えることになったのです。

その医師の話では、小学校5年生の時に、視力と視野を失う視神経炎を患い、高校2年生の時に、原因の分からない左の股関節炎となり、大学2年生の時に多発性硬化症と診断される激しい症状が現れたのですが、このすべての病気が多発性硬化症の一連ではないかとのことでした。

その時、麦の郷の理事長室で執務していたのですが、どうも身体の様子がおかしいと思い事務局にその場を離れることを話し、妻に連絡し主治医に緊急の診察をお願いしました。その時、私の左脚は、ほとんど力を失っ



ジョニーの炸裂日記6

ライスチヨウジヨナ(イラストレーター)

「人間が想像できることは、人間が必ず実現できる」

これは19世紀に活躍したフランスのSF作家、ジュール・ヴェルヌの言葉である。

人間は歴史の中で不可能と言われてきた技術を幾つも実現へと導いてきた。例えばその代表的なものと言えば、飛行機だ。

かつて多くの人が空を飛ぶことを夢見て無謀な挑戦を繰り返して、命を落とす者さえいたくらいである。その後、ライト兄弟が飛行機を開発し、今では当たり前前の技術としてこの世にある。

トーマス・エジソンは様々なものを発明したことで有名だが、同時代に活躍した科学者、ニコラ・テスラは無線トランスミッターというものを発明し、その技術は今でも家電製品やラ

ジオ、リモコンなどに使われている。それだけでなく、テスラ

は未来の技術について数々の予言も残している。将来、ポケットの中に入る程度の大きさの通信機(現代の携帯電話)が開発

されることや、 Σ のような無線の技術が開発されることを1920年代には既に述べているのである。しかし彼の発明や思想は、当時の人々にとつてはあまりにも飛躍しすぎたものであったために理解されることは少なかった。

ジュール・ヴェルヌの生きた時代から100年以上経った現在、人間の技術は手の平に収まる範囲を飛び越え、宇宙開発やロボット開発までもが精力的に行われ、今では「不可能」という言葉を口にする人はほとんどいなくなった。火星への移住計

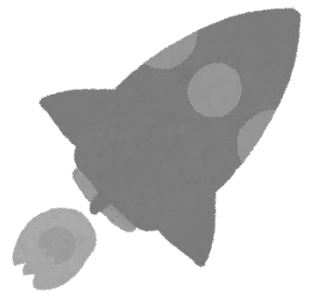
画までもが既に存在するくらいである。火星への移住など、あまりにも突拍子もない話だが、あと100年も経てば案外当たり前の話になっていくかもしれない。

の話を言っているかもしれない。なんとと言っても、人間は本格的なロケット開発を開始してからの30年余りで宇宙へ行ったのだから。(世界大戦や冷戦がそれを加速させたことが大きな要因ではあるが。)

ロボット開発等がより加速すれば、身体の障害と言われるものも、科学技術によつて補完できる時代が来るかもしれない。現代では電動車椅子や義肢、補聴器と言った例ぐらいしかないが、未来では、より発達した義肢が開発される。歩けない人がなんの不自由もなく歩けるようになったり、視覚や聴覚の障害も全て科学技術によつて補うことが可能になっていくかもしれない。医療の力で「治す」よりも、科学によつて「補う」ことができる時代が来るほうが

実は早いのではないかと私は常々思っている。しかしながら、いくら技術があってもそれを利用するかは本人次第。なんでもかんでも障害は「治すもの」「乗り越えるもの」と考えることの是非についての議論が尽きることはないだろう。障害は本人にあるのではなく、社会の側にあるものなのだから。

と、SF作家にでもなりたいたいかという勢いで色々書いてしまった。漫画の読みすぎだと言われれば、実際漫画の読みすぎなのは間違いない。次回はもっと飛躍した話を書くかもしれないが、とりあえず今日はこの辺で。



つれづれあらぐさ

場面③ 土曜日の朝、階段を

一緒に上がる

「おはようございます、今日もいい天気ですね」と、グループホームから戻ってきた彼女を自宅前で迎えます。自分と同年代の彼女はファッション好きで、ワイドパンツなど流行りの服を着こなします。この日は、白いパンツにボーダーTシャツのマリントイストでした。ちなみに、彼女は“晴れ女”だそうで、生まれた日が大雨で一生分の雨が降ったからだとご家族が話していました。

無認可の頃、彼女とは所属グループが違ったのですが、休日外出や宿泊体験の取り組みで一緒でした。マクドナルドで隣に座っての食事中、横を向いている間に手に持っていたハンバーガーが半分消えたことがあ

りました。驚いて彼女を見ると、涼しげな表情で口をもぐもぐ。宿泊体験の入浴では、こちらの呼びかけにお湯をバシャバシャしながら湯船につきり続けていました。

自宅前には5段ほどの階段があったて、車イスから降りて上がります。ご家族と自分で前後を支えながら、一段ずつ足を運びます。時には一段飛ばしで上がったり、後ろに反って

ない日々も続きましたが、再開後は近所で有名なお肉屋さんに出かけました。ヘルパーさんから店内はマスクをする必要があると聞いた彼女は、普段はしないマスクをして買い物をしたそうです。持ち帰ったお肉は、焼き肉にして一人で食べたということでした。

みたり、ご家族の足を踏んだり、いたずら心いっぱいです。階段の上り下りには介助が必要ですが、上り下りのみに利用できる制度はありません。通所や入浴、外出支援等の福祉サービスを利用する以外は、外に出るのが難しい状況です。階段昇降機やスロープも検討しましたが、実態に合いませんでした。

ご家族は、ご本人がいろいろなと関わって意欲的に生活していくことを大切にされています。自分は普段から支援に入っているわけではありませんが、自宅前で出迎えると「今日は、中山さんね」とクールに受け入れてもらっているように感じます。「今日もお願いします」と声をかけて、「うんうん」とうなずく彼女と一緒に、一步一步階段を上っていきます。

中山 恵美子（あらぐさ福祉会）

当初は「出かけたが」と、声を出して主張していた彼女。特に、長期休暇はストレスがたまる様子で、ご家族は外に出られない理由をその都度説明しました。新型コロナウイルスの感染拡大で外出支援が利用でき

あらぐさ福祉会は長岡京市にある社会福祉法人で、障害のある人たちの暮らしを支える事業を行っています。1986年に無認可の共同作業所を開所して以降、日中の通所から生活の場、ヘルパー事業所等、地域で暮らし続けるために必要なものを作り出してきました。今回の連載開始にあたり、「障害者の喜びと悲しみ、家族の喜びと苦悩、職員の働き甲斐と先が見えない苦悩…そういうことが浮き彫りになればと思います」とお話をいただきました。日々自分が経験していることや感じていることを通して、それぞれの一場面を綴れたらと思います。なお、内容については個人情報に配慮して構成しています。

2+2=詩

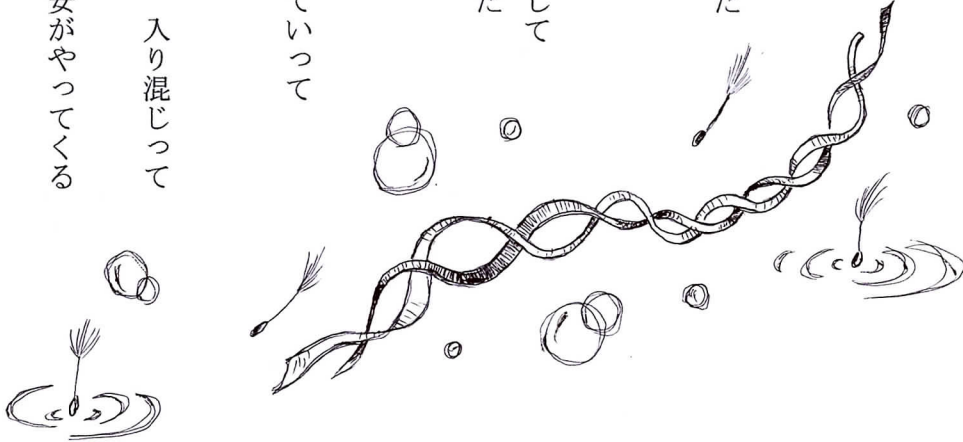
「ささやかな禍福」

小さな幸せが吹いてくる
ぴゅうぴゅうと風にのって、
びたびたと僕の頬を撫でて
あつという間に飛んでいった

小さな幸せが落ちてくる
パラパラと雨に混ざって
ぼたぼたと僕の手指を濡らして
つかむ間もなく地面に落ちた

小さな幸せが湧いてくる
ポコポコと音を立てながら
じわじわと僕の心を満たしていつて
流れるように乾いて消えた

幸福と不幸が繰り返されて、入り混じって
そして今日もほら、
小さな幸せとそれを失う不安がやってくる



「ある日」

午後の日差しの下、
コンビニで買った安ジュースを道端ですする
悪くない

口に残る適当に甘ったるいリンゴの味
悪くない

何をするでもなく、

ただぼんやりと

少しオレンジがかかりだした町並みを眺めている

悪くない

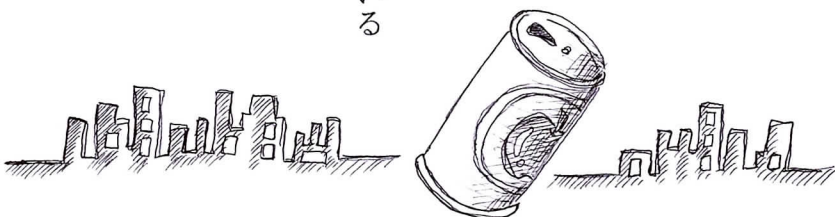
一分後には、

漠然と人生の残り時間を浪費しているのだと

激しい焦燥感に

囚われるのだとしても、

今この瞬間は悪くない



作・富士一文 挿絵・水口萌恵

障害のある人の
権利を守る 北障連から

濱中博

京丹後市への
2021年度要望②

どんなに障害の重い人も生まれた地域で生活したいとの願いを叶えるため、あみの福祉会では、重度心身障害の医療的ケアの必要な人たちのグループホームの立ち上げを準備しています。

○65歳介護保険への移行を現状のまま猶予してください。

利用者の高齢化が進み、満65歳以上の利用者もたくさんおられます。しかし満65歳になり介護保険に移行することは、限られた工賃と障害者年金で生活されている皆さんの現状では負担が増え、厳しい支出となります。また、高齢者施設での生活より障がい者施設での

取り組みを希望される方がおられます。利用者の希望する生活や暮らしを守っていくため介護保険移行を猶予してください。

○京丹後市として障害者福祉施設・事業所の人材確保・処遇改善に向けた努力をして下さい。

現状では障害者福祉施設・事業所の人材が足りていません。特に訪問ヘルパー人員が十分とはいえずサービスマン利用が限られています。訪問ヘルパーを増員していただき現状より訪問サービスマンが向上するようにしてください。またそれぞれに合わせた処遇改善と障害者福祉への啓発もしてください。

○新型コロナウイルス感染症終息までの間、障害のある人と関係者への継続的な検査といのちを守る医療を確保するとともに、仕事の減少による工賃減額の補填を実施してください。

現在福祉事業所職員への新型コロナウイルス感染症に対する検査は支援

していただいております。大変助かっております。しかし、利用者への検査キットの不足から事業所・施設の現場では適切な対応が困難になっている現状を踏まえ、障害者総合支援法に基づくすべての事業所に、抗原検査キットを無料で配布できるように体制の整備を継続してください。また、PCR検査の体制を抜本的に拡充し、無料で誰でもいつでも受けることができ、結果が早くにわかるようにしてください。

新しい環境に馴染みにくい利用者もおられます。感染した利用者が安心して療養できるように場所や体制を確保してください。

長引く感染拡大で、障害者就労支援事業所における生産活動及び障害のある人の工賃・賃金は大きな打撃を受けています。生産活動を行なうすべての事業所を対象に、新型コロナウイルス感染症の影響で減額となった工賃・賃金を補うための措置を講じてください。

○医療的ケアの必要な人や強度行動障害の人たちの緊急時

の生活や活動を保障する環境の整備をしてください。医療的ケアの必要な人の緊急的な対応の場として、現在、京丹後市立病院を利用させていただいていきます。しかし、病院はあくまで医療の場であり、日常を送れる場所が求められています。京丹後市として医療的ケアの必要な人や強度行動障害などの人たちがその家族の実態を把握し、対応できる施設整備の方針を示してください。



365歩のマーチ



27 夏のほたけ

「コロナの状況は予断を許しませんが、コロナ禍以前に行っていたイベントをどうすればこの状況下でもできるか…とどう考え方に変わってきているように思います。それは私の職場（児童発達支援センター）でも同じで、子どもたちにどのようなことを経験してほしいか、とどうことをおとなが頭をひねって考えています。

の1階エシペーターホールには、さまざま催しのチラシが掲載されています。ある日チラシを見ていると、「ホタルに会おう」とあります。よくよく見てみると、家の近くの公園でホタルをはなすとのこと。

2019年の夏に生まれたゆいちゃんにとって、1歳、2歳…と夏のイベントを経験しないまま現在を迎えています。今年はコロナへの配慮のもと、ゆいちゃんに住む地域でも、いろいろな催しが開催されています。マンション

当日の夜、ホタルのイベントを忘れてビールを飲んでいたので、母の「今日ホタルじゃなかった?」の一言で現実…。ビールを飲んでほろよい、ゆいちゃんも飲んだのですが、せっかくなので父母とゆいちゃんと一緒にホタルを見に行くことにしました。

家を出てから歩いて5分程。公園に到着するとたくさんの方が集まっています。公園では、保育園の先生や友達、その親御さんまでみんなゆいちゃんに声をかけ

てくれました。朝一番「保育園に預け、お迎えも最後…ゆいちゃんの方が友達や親御さんに詳しく、今の誰のお母さん?」と小声でゆいちゃんに尋ねる父でした。みんなが見上げる先を見ると、ふわふわと光るホタルが。外灯もあり見つけるのが難しかったようですが、しばらくするとゆいちゃんもホタルを見つけたようです。小学生らしきお姉ちゃんがホタルをつかまえていたので、「ちょっと見せてくれる?」とお願いとゆいちゃんの前にと手をとってさし出して見せてくれました。こんな地域の交流はすてきな…と思つひと時でした。ゆいちゃんは、そんな時間のなかで、お姉ちゃんの手の中にある、光るホタルを食い入るようにつめていました。

人混みが苦手な父は、家に帰ってほっと一息ついていました。ゆいちゃんは、リビングで遊んでいましたが、おもむろに『はじめの図鑑』を取り出して遊んでいま

す。この『はじめの図鑑』は、いろんな分野の写真が掲載されており、付属のペンを写真に当てるとその名前を言ってくれる、という「すべれもの」です。すごいなあとは思いつつも、ペんが名前を言ってしまうと、ゆいちゃんもモノとの関係で終わってしまうので、本は大人と一緒に読んでほしいな…とも思いますが、そんな図鑑で遊んでいる姿をよくよく見てみると…。ペンをぴっと当てては「ホタル、ピ!」「ホタル、ピ!」「ホタル」とくり返していました。ゆいちゃんもななかで、ホタルの印象がとても大きかったようです。

子どもにとって、はつきりとは覚えていないかもしれないけれど、なんだか「楽しかったなあ」「ここちよかったなあ」という原体験となるような時間を公私ともにつくっていききたいと思

います。

安藤 史郎（あかひつむすの園）

知っ得情報

一人親でなくても児童扶養手当支給

代表委員 松本 美津男

児童扶養手当は一人親家庭に支給される手当とされていますが、両親のどちらかに重度の障害があれば、一人親家庭でなくても支給されます。この手当は、申請月の翌月分からの支給となります。対象になりそうなのは至急申請しましょう。

〈児童扶養手当の額〉

支給対象児童一人 月額四三〇七〇円（二人以上は増額）

*いずれも所得により減額または支給停止。

*児童が公的年金給付の加算対象の場合などで年金の方が児童扶養手当より低い場合は児童扶養手当との差額を支給。ただし障害基礎年金受給者は子の加算額との差額を支給。

〈対象になる父又は母の障害程度〉

重度の障害として内容は細かく決められているが、概ね国民年金1級障害程度。

*手帳の等級とは違い身体障害者手帳2級でも対象になるケースもあり。

〈申請問い合わせ先〉

各市町村（京都市は各区役所支所子どもはぐくみ室）



あなたもぜひ 仲間に

サロン・サークル・地域活動展開中
生活支援スタッフ(資格不要)募集中
介護職員(資格要)募集中

ひとりぼっちの高齢者をなくそう
元気な高齢者はもっと元気に

「よろず相談」承ります(随時)



あなたも支える存在に

京都市北区紫野東野町1-5
電話075-432-3636

命の平等をかけた、 無差別平等の医療と 福祉の実現をめざす

働くひとびとの医療機関です

看護師・薬剤師・医師や医療技術者を

目指す方をご紹介ください



京都民主医療機関連合会

〒615-0004 京都市右京区西院下花田町21-3 春日ビル4階

TEL 075-314-5011(代) FAX 075-314-5017

Home Page <http://www.kyoto-min-iren.org>

e-mail: info@kyoto-min-iren.org

ありがとうございます

年会費 芦田賀寿夫・中井美智子・増田康夫・石黒憲一・原哲夫・瀧本正史・江村裕之・坪井道雄・澤月子・粟飯原利弘・京都生活協同組合連合会・京都第一法律事務所・松尾英巳/道子・中津めぐみ・中川恵子・平井栄子・安藤和彦・三宅善昭・山根郁夫・一谷孝・櫻田朋子・石野清子・川井祐次・福島利夫・是澤朗/雅代・西野美幸・竹井登志郎・関佳子・西山治・浅野孝子・谷口良子・山田智子・菅令子・北山忠生・田中智子・浦野新一・水口武夫・梶宏・松本慎一・米盛晴江・塚本浩子 (敬称略 2022. 6. 10)

人生の伴走者

⑤地蔵と梅

本紙編集長 井上吉郎

・お地蔵さん

京都市北区北野の地に「お首地蔵」があって、大きな祠（ほこら）の中に鎮座しています。北野天満宮（てんじんさん）の西側で平野神社の南側に建つ小さな洞です。その昔、北野の地がまだ竹藪だった頃、この地に辻斬りが出て住民をなやませたといいました。被害者たちの法要と安全祈願のために地蔵を建てたところ、それからしばらくの後、地蔵の首が綺麗に切り落とされたそうです。それ以降辻斬りがぱったりと途絶えたことからこの地蔵を「身代り地蔵」として敬うようになり、現在では首から上の療養にご利益があるとされています。

ここは町内で地蔵盆をするところです。独特のいわれを持つ「お地蔵さん」は、地域の誇りです。

・紅梅

僕が住んでいるところは、「京都市北区北野紅梅町」。菅原道真を祭神とする北野の天神さん（北野天満宮）では梅が、キーワードのように扱われます。春を探しに、その天神さんに行って満開の梅を愛で、甘ずっぱいようなそして馥郁（ふくいく）たる香りを愉しみました。道真が梅を愛したこと、道真が京都から博多に移されたとき梅が飛んで行ったという話（「東風（こち）吹かば匂（にほ）ひおこせよ梅の花主（あるじ）なしとて春を忘れそ」）が伝わっていること、そんなこともあって、北野天満宮は「梅」を思い起こさせます。

大阪の天満宮の近くにも「紅梅町」という町名があるそうです。既述のように、自宅も天神さんの近くです。そんなことがあって、津村節子の小説『紅梅』は、読む前からはタイトルに惹かれていました。津村が、夫である吉村昭の最期の日々を小説に書いたということは承知していましたが、タイトルの「紅梅」にも興味がありました。

物を書くのが一番好きで、書齋をこよなく愛した夫の机の前には紅梅の木があり、季節になると梅の花が咲きました。夫には「紅梅」は友達のようなものでした。夫の「生と死」を描いたと作にふさわしいタイトルというべきか。《書齋の前の紅梅と、塀に沿って植えた二本の採取用の淡紅色の梅が満開になった》と津村は書いています。また、津村は《書齋の窓の前の紅梅はもう終わっていて、しだれ桜の蕾がふくらんできていた。夫は紅梅が、育子は花の咲く樹は何でも好きで、しだれ桜も二人で植木屋の庭園を歩き廻って買った樹である》とも書いています。「書齋」と「紅梅」が夫の人生を豊かにし、彩っています。育子（夫の妻でこの人も作家。津村自身か？）はそう述懐しています。